



## 新しい年を迎えて

CTF 松阪会長 川 口 保 美

### 門松は冥土の旅の一里塚 めでたくもあり めでたくもなし (狂雲集)

一休さんの作と伝えられている句であるが、子供の頃にこの句を教えられ詩の意味を聞かされた時はなるほどと感心して聞いたものである。だが古希を迎える今の僕には詩の解釈が実感としてよく分からない。

- ・近年門松は殆ど見かけられなくなった。
- ・年齢を、数え年ではなく満年齢で数えるようになり、正月に加齢をしなくなった。
- ・おせち料理がご馳走でなくなり、毎日が飽食のこの頃である。
- ・着る物にしても、お正月には上から下まで全て新調してもらい楽しみがあったが、今では日々ブランド品を纏いぼろ等着ている者は居ない。
- ・昨今休みが多すぎる。昔はもっと働いた。だから家族一同集えるのは少しまとまって休みの取れる正月休み位しかなかった。

このように取り上げてみても昔の正月の持つ意味合いはもっと重かった。現在のように単に沢山ある祝日の中の1日ではなかった。昔の正月はもっと良かった！もっと楽しかった！！

一休さんの逸話にこんなものもある。

とある寺にしばらく滞在していた一休さんがその寺を離れる時に一通の手紙と共に、「この寺にどうしようも無い一大事が起こった時にあけて見なさい」と言い残して去っていった。

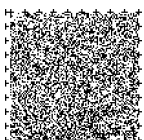
数年後、どうしようもない事態が起きて弟子たちは遂に一休さんの残してくれた手紙を開封した。そこには、ただ一言「心配するな、何とかなる」と書いてあったそうである。

一休さん大好き～ 一休さんバンザイ～。

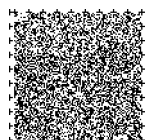
ちなみに一休さんは 88 歳の天寿を全うされました。

今年も一休さんのこの教えを肝に銘じ皆様に支えられ、教えられて CTF と共に歩んで行きたい所存で居りますので宜しくお願い致します。

新しい年が素晴らしい一年となりますよう、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



今月号は文字数が多いので、1ページと2ページ、4ページにSPコードをそれぞれ2個ずつ付けてあります。1ページと2ページ、4ページでは、先に左下のSPコードを、次に右下のSPコードを読んでもください。





## ちょっと一休み (コンピュータは大丈夫?)



今やコンピュータは空気や水と同じで我々の生活に無くてはならない便利な存在になっていますが、コンピュータが故障したらと考えたことはありませんか？

先日のみずほ証券の人為的ミスに東証のプログラムミスが絡まってアッという間に400億円余りの損失が出たと言う記事を見て、少し気になったので調べてみました。それがね、結構あるんですね。

大きく分けて、ハードの故障が原因の場合とソフト面の不備(プログラムミス)による場合がありますが、ハードが原因の故障は案外少ないのですが、可児市の電子投票システムがサーバーの加熱からダウンした例があります。これは傑作で、職員が自宅から扇風機を持ってきて冷やしたそうです。

ハードの故障は冗長性を持たせることで信頼性を上げることが出来ますが、ソフトの場合はそうはいきませんから厄介です。そして、ほとんどのトラブルは人為的なプログラムミスが原因でおきています。

プログラムを組む場合にはあらゆる場合を想定して組まなければならないのに、常識的に考えてありえないだろうとつい手を抜いてしまう。その典型的な例が松本広域消防局の119番通報が22分間にわたって麻痺した例です。事の始まりは通報者が0.1秒以内に電話を切ったのが原因だった。着信を認識して呼び出し音を鳴らすといった一連の処理が終わらないうちに回線が切断されたのでプログラムが切断を認識できずに延々と着信状態が続いてしまったのだった。0.1秒以内の切断は想定外でプログラムされていなかったというお粗末なものだった。

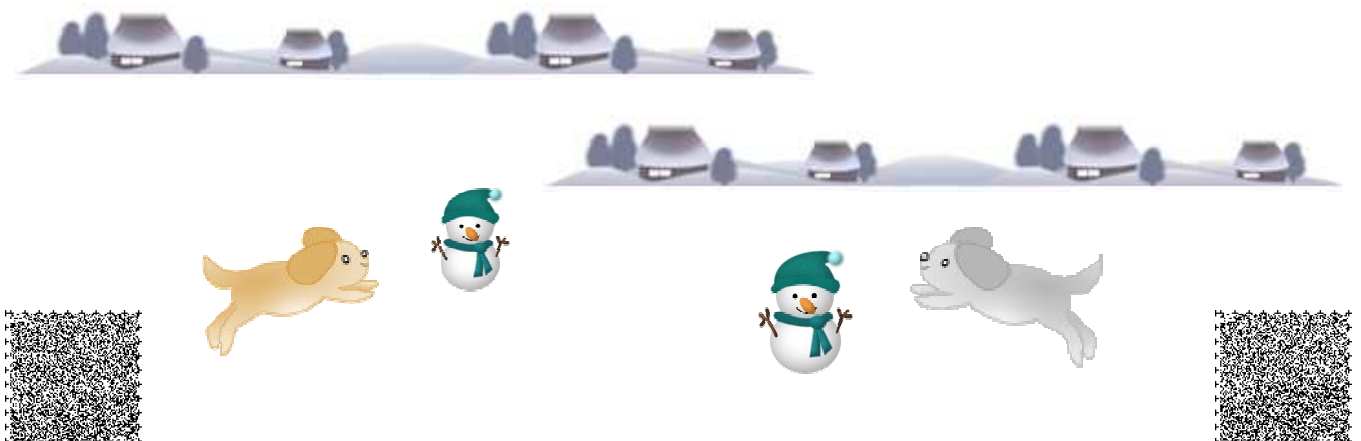
また、起こるべくして起こった支障もある。それは金融機関のATM(現金自動預け払い機)の障害で「2038年問題」と呼ばれるデータの桁あふれが起こり、正常な通信データをタイムアウトと認識してトラブルになった。

原因は日付けの足し合わせ処理によって30年あまり早くこの現象が起こってしまったのだった。

このように、ほとんどのトラブルは人為的ミスが原因で、機械は正直である。何時ミサイルが飛んできてもおかしくない状況なのかもしれない。

2038年問題：UNIX環境ではシステム内部の時刻をグリニッジ標準時1970年1月1日0時0分0秒からの経過秒数で保持している。時刻データは4バイトの符号付整数を使っているため2038年1月19日3時14分8秒(日本時間同日12時14分8秒)に日付型変数が「80000000」となり最上位のビットが立つことにより負の数になるので計算結果が異常をきたす。

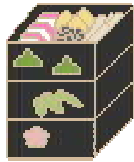
つづく



活動報告

【12月】

障害者対象個人向けパソコン講座  
(6日、13日、20日)



活動予定

【1月】

障害者対象個人向けパソコン講座  
10日、17日、24日  
各9:30~11:30  
松阪市障害者福祉センターにて

第18回理事会

14日 13:30~16:00  
松阪市障害者福祉センターにて



CTF松阪 役員一同

季節の花・センリョウ

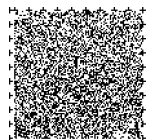


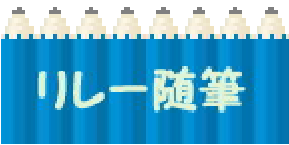
センリョウ科の常緑灌木で、花は初夏に咲くのですが秋につけた実が冬には赤く熟します。

ヤブコウジ科の“マンリョウ”に対して“千両”と呼ばれ、千両と万両で、正月には縁起が良い花として切花や鉢植によく使われます。

牧野富太郎博士の植物図鑑によれば、『和名ハやぶかうじ科ノまんりょうニ対して千両ノ名アリ、両者頗ル相近キガ如クナレドモ花ノ構造全ク異ナリテ類縁ハ甚ダ遠シ』とあり、両者は仲間でも何でもないとの事です。

語呂合わせのようですが、万両、千両のほかに百両、十両、一両と呼ばれている木もあるそうです。





今月は、「くまさんのひとりごと」の最終回」を掲載します。  
このコーナーでは皆様方からの投稿を募集しております。600文字ぐらいにま  
とめて編集部までお寄せください。お待ちしております。

くまさんのひとりごと(3)

CTF 会員 No.00\*\*

またまた、片隅での資料とのにらめっこである。

通えるような距離と思われる会社は、ないかと探した結果、あと2社を見つけることができた。

2社目は、事業所が2階にあるため、車椅子では事務所に入ることが難しいとの事である。

3社目の面接は、受けるには受けたが、僕のできそうな仕事ではなかった。

都合、3社の面接を受けたのではあるが、結局僕にできる仕事はないという結果に終わってしまった  
最初から、大きな期待は、かけてはいなかったものの、散々な結果とでも言ったらいいのだろうか。

傾向を見てみると、ほとんどの会社が、パソコンを使っての業務である。

力仕事ができなくなってしまった今では、僕自身もパソコンを使ってやれる仕事しかできないだろうとは思っ  
てはいるが、スキルが、まだまだたらないというのが、実情だ。

自分でも、分かってはいるのだが、覚えては忘れ、忘れては覚えの繰り返しである。

エクセル・ワード、高度なことは、ふだん使う必要性がないからである。

それから、CAD、プログラムなど もっと高度なことや専門知識が要するようなことも、ちらほらである。

障害者自立支援法が、始まろうとしている今、これから何らかの負担が増えていくと思われる。

現状では問題はなくても、これから先も安泰とは、言い切れないかもしれない。

障害者も何らかの収入源を持つことが、ベターなのだろうと思っている。

障害者の一般就職は、まだまだ難しい 今

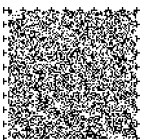
趣味にしる、仕事と考えている人にしる、CTFのような団体が、どんどん増え、内容も充実し大きく飛躍してく  
れるよう願っている。

おわり



編集後記

本年も宜しく御願ひします。  
皆様にとっていい年でありますように。



**CTF 通信第34号**

2006年（平成18年）1月発行

発行者 ITを活用した障害者支援 NPO 法人  
CTF 松阪

発行責任者 川 口 保 美

住 所 〒515-0081 松阪市本町 2181-1

電 話 0598-21-7268

U R L <http://www.geocities.jp/sanguudo/ctf/>

